

事業所名

space Kid's 西巣鴨

支援プログラム

作成日

7 年

6 月

1 日

法人（事業所）理念		1. 子どもの成長を信じあきらめない 2. 愛情豊かに接しありのままを受け入れる 3. 子どもの考え・気持ちを尊重する 4. 比べない 5. 自分のものさしで子どもを判断しない					
支援方針		自立、協調性、社会性を基本とした療育を子どもに提供します。 個々のペースに合わせた生活面、社会面での自立をサポート。小～中～高と継続した支援を目指します。 集団生活の中で自分らしさを大切にしながら、周囲との協調性をサポートします。 気持ちよい返事やあいさつができるコミュニケーションを大事にします。					
営業時間		12 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	子どもの健康状態の維持 生活リズムと生活習慣の形成 基本的な生活の獲得					
	運動・感覚	姿勢保持 体幹の強化 感覚の活用					
	認知・行動	概念形成の習得（時間、数） 認知の発達 行動の習得					
	言語 コミュニケーション	あいさつ コミュニケーションの向上 語彙や言葉の獲得 アタッチメント形成					
	人間関係 社会性	他者とのかかわりの形成 自己の理解と行動 仲間づくり 集団への参加					
家族支援		利用者ご本人を取り巻く環境がよりよいものとなるよう、一番の支援者であるご家族様の悩みやご相談がある時は随時お受けいたします。				移行支援	利用者ご本人が生活していく場所や環境がステップアップしていけるよう一緒に考えていきます。一例としては地域の放課後クラブなどへの参加、移行へと進むよう常に連携を取ってまいります。
地域支援・地域連携		地域の子ども広場などを積極的に活用し、様々な人や関係機関と交流をすることを定期的に行っています。また利用者ご本人の生活向上、スキルアップのために相談支援事業所などとの連携もとっております。				職員の質の向上	社内研修、社外研修などさまざまな研修を取り入れ、支援者としてのスキルアップに日常から務めています。
主な行事等		夏まつり、ハロウィンパーティー、クリスマス会、おやつづくり、ランチづくり、外食体験、カラオケ、公園あそび、社会科見学等各種課外活動					

5 領域における療育・支援

※一例

space Kid's 西巣鴨

子どもの健康状態の維持
生活リズムと生活習慣の形成
基本的な生活の獲得

健康
・
生活

トイレトレーニング
身支度の習慣化
衣服の着脱
時間での行動切り替え

あいさつ
コミュニケーションの向上
語彙や言葉の獲得
アタッチメント形成

言語
・
コミュニケーション

伝言ゲーム／連想ゲーム
インタビューごっこ
絵カードの活用
まねっこゲーム
5 W1Hカードで文章を作る

姿勢保持
体幹の強化
感覚の活用

運動
・
感覚

●粗大運動●
サーキットトレーニング
～バランスストーン、マット、けんけんぱetc～
ボールをつかむ、なげる、とる
バランスボール
トランポリン

●微細運動●
マナー豆
にぎにぎ新聞ボール
紐とおし

他者とのかかわりの形成
自己の理解と行動
仲間づくり
集団への参加

人間関係
・
社会性

ロールプレイゲーム
自己紹介すごろく
課外活動にて外出

概念形成の習得（時間、数）
認知の発達
行動の習得

認知
・
行動

ブロック・粘土の創作活動
借り物ゲーム
ヴィジョントレーニング
リズムdeおんがく
パズル

音楽と人との関係

- 音楽を通じてリラックスした気持ちになる
- コミュニケーション手段を引き出す
- 今感じているストレスや不安を少なくしていく

音楽と子どもにおける関わり

音楽を通じて行う療育は音楽を介入した臨床的及び証拠に基づいたものであり、目的は対象者の「健康（身体、心理、社会、精神）」を満たすためのものとされています。音楽には小脳機能を改善する効果があり、音楽体験を通して他者とのコミュニケーション、自己実現が生まれるきっかけがあることから、発達障がい、知的障がいに音楽療法は有効なのではと考えられています。space Kid's西巣鴨で行っていく音楽を用いた主な支援内容を一部紹介します。

【呼び名】（健康・生活/認知・行動）

メロディにあわせ、呼び名活動を行うことで、その活動の始まりを認識したり安心感を与えることを目的とする。また呼び名に応じることで発声、発語の促進を図り、自分や他児の認識を設ける。主に「だれかなクイズ」と題し、呼び名→ピアノやタンバリンに触れる楽器を介した自己開示を行っていく。



【歌】（言語・コミュニケーション）

歌にのせた発音練習、音声・口形模倣、発語の促進を図る。歌詞カードを用い、音と言葉の一致、視覚の促しも行う。季節に関わる歌詞に親しみを持てる曲を中心に取り上げる。また数分のパネルシアター（鑑賞）の活動から視覚と聴覚の記憶や想像力を養います。

◇参考例

- ・歌：海（唱歌）、ともだちいいな（ケロポンズ）
- ・シアター（鑑賞）：はらぺこあおむし（新沢としひこ）、干支シアター（オリジナル）



【体操/身体・リズム運動】（運動・感覚）

音楽に合わせて体を動かすことにより、粗大運動、動作模倣、即時反応、協応動作、身体の左右のバランスなど、身体へアプローチするのねらい。また音楽の大小や静止に伴い、集中力、自己コントロール、周囲に合わせる力もねらいの対象となる。

◇参考例

- ・体操：アブラハム体操、エビカニクス、ラーメン体操
- ・身体・リズム運動：ピアノに合わせた身体運動、フープを使用したリズム運動等



【楽器演奏】（運動・感覚/人間関係・社会性）

色々な種類の楽器を1人1つずつ役割分担を担い、自己と他者の意識付けを設ける。楽器演奏では情動の発散、音楽と動きの一体化、視覚による運動のコントロールといった身体的な面から、他者との関わり、集団意識の向上など人間関係・社会性を養う面まで、幅広い目的がある。また各楽器でねらいが違うことも特徴。

- ・振る（マラカス、トーンチャイム、鈴）→追視、手首の動作、運動の方向性と制限等

- ・叩く（タンバリン、カスタネット）→目と手の協応、位置記憶、情動の発散

- ・触れる（コンガ、カホン）→手の操作性と感覚受容、音と動きの一体化

- ・こする（カバサ、ギロ）→触覚受容、運動の方向付け

- ・集団合奏：ジャンボリミッキー、ドラえもん、トルコ行進曲（子どもたちよりリクエストを元に選曲）

- ・個別演奏（集団活動）：全員で輪を作り1つの楽器を共有する活動。

「○○くん/○○ちゃんの楽器」の言葉に合わせ自己表現を出す活動。楽器を通した非言語的会話、協調性を生むことが特徴。

